



焼付防止、適正軸力確保のSDCボルト

【従来のステンレスボルトの欠点】

①摩擦係数が大きい。

→ねじのはめ合いの摺動抵抗が大きくなる

②熱伝導率が小さい。(炭素鋼・合金鋼の1/3)

→ねじのはめ合いで発生した熱が発散されにくく局部的に高温になり易い

③熱膨張率が大きい。(普通鋼の約1.5倍)

→上記2点と相乗効果をきたし、ねじ山の膨張が大きくなる

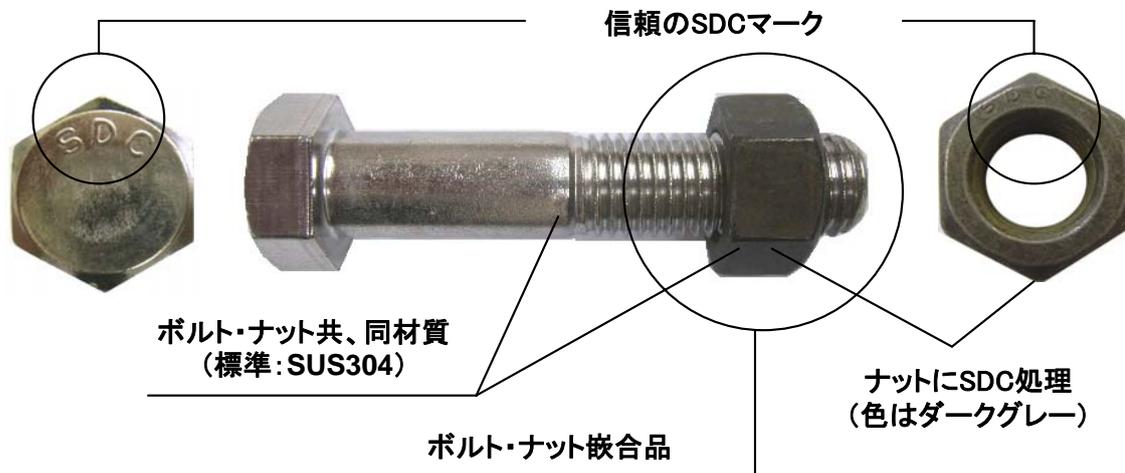
これらの原因のため、ステンレスボルトはかじり・焼付きが発生しやすくなります。

上記の欠点を克服する防止策として、SDC処理が開発されました。

SDC処理は、焼付防止の効果はもとより、ねじとして一番大切なトルク係数値を安定させ、適正な軸力を与えられる処理です。

単に焼付きを防止するだけではなく、適正軸力(締め力)を保持するのがSDCボルトです。

SDCボルト(SUS304等): ステンレス六角ボルトナット



特長

- ・焼付防止効果
- ・適正軸力確保
- ・日本水道協会
検査合格品

ボルトの軸力とは・・・?

ナットを締めつけた時に、伸びたボルトが元に戻ろうとする力の事です。

この力が被締結物(フランジなど)にかかることによって「締め力」が得られます。

トルク係数値を定めているSDCボルトでは、トルク管理を行えば適正な軸力が得られるよう設計されています。

『ボルト・ナット』で品質保証

SDCボルトは、ナット単体では販売致しません。

SDCナットだけを使用しても、ボルトが粗悪品であれば、焼付防止・適正軸力確保が保証できないからです。

ボルト・ナットで締め付け検査を行い、全品嵌合して合格したものだけを出荷しています。